

令和7年度予算と事業計画決まる

単年度収支で赤字の予算を編成

去る令和7年2月25日に開催された第85回組合会において、当健保組合の令和7年度予算と事業計画が可決・承認されましたので、そのあらましをお知らせいたします。

◆収入◆

政府は「次元の異なる少子化対策」に取り組んでいますが、社会の少子高齢化を止めるには、まだ時間がかかりそうです。総務省が発表した資料（統計トピックスNo.142）によると、65歳以上人口が総人口に占める割合は29.3%と、過去最高とのこと。加齢に伴い病気やけがのリスクが上昇するため、国民医療費は年々増加し続けています。また、薬剤の進化や新しい医療技術の導入なども、国民医療費増加の一因です。全国の健保組合は、高齢者医療制度に対して納付金を拠出して、財政的に支えています。しかし、その過大な拠出額は、支える側である健保組合などの現役世代にとって、大きな財政的負担となっています。当健保組合においても、厳しい財政状況が続いています。令和7年度の予算総額は、前年度より4605万3千円少ない2億8892万7千円です。収入の82%が事業主と被保険者のみなさんから納めていただく健康保険収入（国庫負担金収入含む）で、前年度より165万1千円少ない2億3783万2千円を計上しています。

◆支出◆

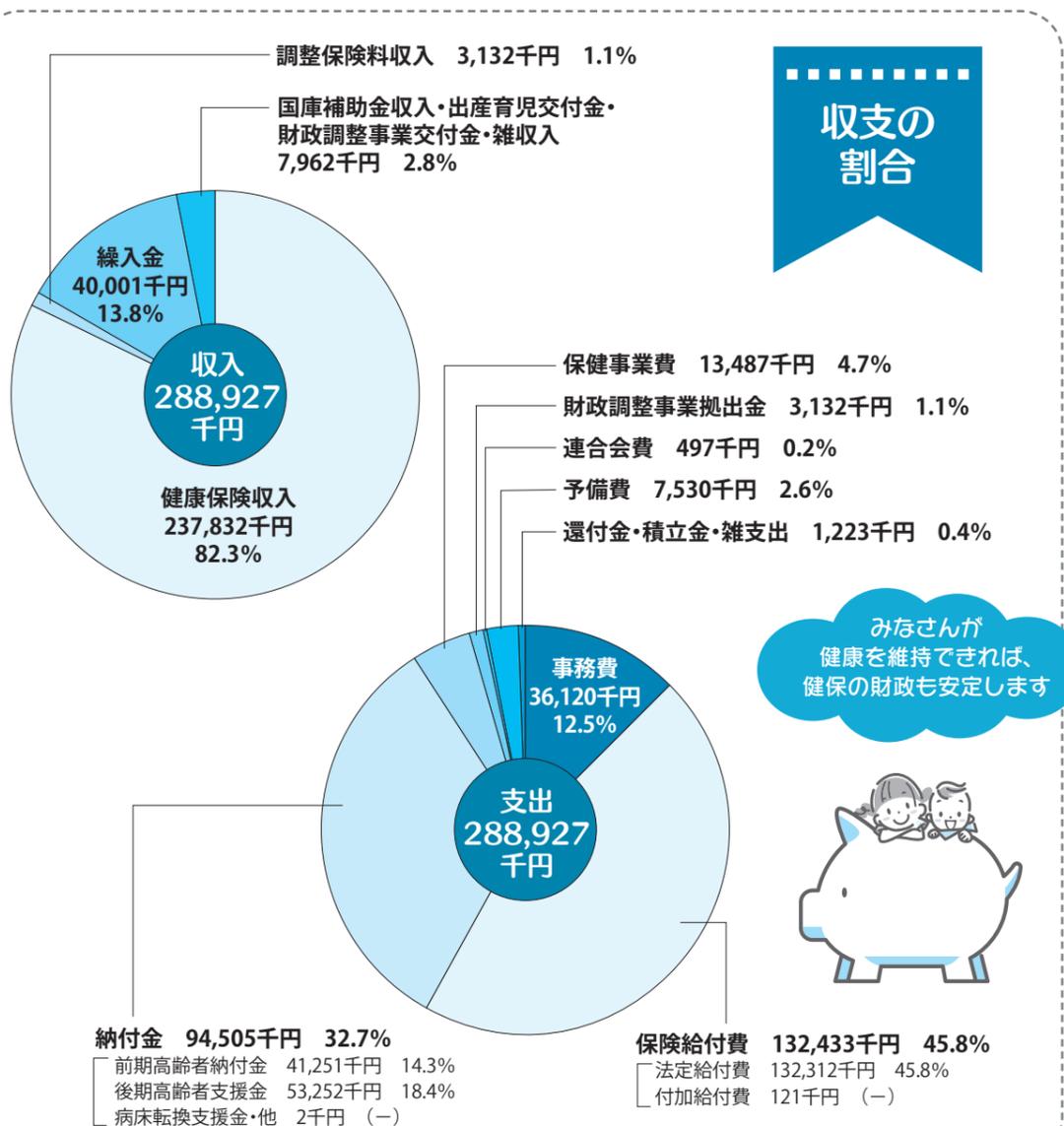
支出のおよそ46%（保険料の56%）はみなさんやご家族の医療費や各種給付金に充てられる保険給付費で、前年度より602万8千円少ない1億3243万3千円を見込んでいます。高齢者医療制度への納付金は、前年度より3856万8千円少ない9450万5千円で、支出全体の約33%（保険料の40%）を占めています。前年度より減少しましたが、保険給付費と納付金の2科目だけで、保険料とほぼ同額という厳しい状況です。

みなさんの健康づくりをサポートするため、保健事業費には1348万7千円を計上しております。健診や人間ドックの補助、保健指導などを通してみなさんの健康管理を支えてまいります。これらの事業を活用して、病気の予防と健康づくりにご活用ください。

以上の結果、令和7年度は前年度の保険料率千分の100（調整保険料率含む）を維持しましたが、3577万1千円の赤字予算となりました。健康保険組合は、事業主と被保険者が保険料を出し合って運営しています。大切な財源（保険料）を有効活用するために、みなさんにおかれましては適正受診の励行やジェネリック医薬品の活用など、医療費の節減にご理解・ご協力をお願い申し上げます。

また、保険料だけでは必要な額をまかなえないため、4000万1千円を積立金から繰り入れて、収支を均衡させました。

収支の割合



令和7年度も

健康づくりをサポートします

当健保組合では、みなさんの健康づくりをお手伝いしてまいります。左記の事業を積極的に活用して病気の予防と健康づくりにお役立てください。

保健・衛生知識の普及のために

- ホームページの開設
- 医療費通知（3カ月ごと）
- 保健図書の配布（新人対象）

病気の予防のために

- 特定健診・人間ドック
40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に年1回実施
- 特定保健指導
対象者に実施
- 生活習慣病健診
被保険者・被扶養者全員を対象に実施

健康づくりは日々の積み重ね！
簡単なことから始めて、楽しく続けましょう！

